

ハンドボールで白熱

トップアスリートとスポーツ体験

10月27日(木)、北勢中学校2年生が「トヨタ車体 BRAVE KINGS」の選手からハンドボールを教わりました。これは、市とトヨタ車体(株)が「スポーツクラブ活動を通じた連携協力に関する協定」を結び、実現した活動の一つです。選手たちの気さくな指導でリラックスした雰囲気の中、伸び伸びとプレーを楽しむ生徒たち。ハンドボールを初めて体験し、ゴールを決めた生徒は「楽しい！」とうれしそうな笑顔。東京オリンピックに出場した渡部仁選手は「子どもたちの一生懸命な姿や、ユニークな発想のパスなどから刺激がもらえ、新鮮な気持ちになりました。こうした活動を広げていきたい」と額に汗を流しながら話していました。



1. 選手3人対2クラスの生徒全員で試合。生徒も選手も真剣勝負 2. パスの練習 3. 試合を楽しむ

楽しい秋の遠足

地域の名所を知る

10月28日(金)、員弁西保育園の5歳児が、遠足で員弁町内の名所をめぐるしました。最初に訪れたのは、県の有形民俗文化財に指定されている「刻限日影石」。園児たちは「これが紙芝居で聞いた日影石だね」「今は日が当たってないね」と石に触れたり、日の光が射す方向を探したりしていました。その後、天照大御神がまつられた「神名社」を参拝し、「笠田大溜」周辺を散策。水の流れる音に耳をすませたり、まっすぐ伸びる太い木やむき出しの木の根を見たり。「すごいね〜！」と興味深く観察していました。近くに住んでいても初めて訪れる園児も多く、地域を知る機会になりました。



1. 秋晴れの遠足日和 2. 水争いを解決したとされる刻限日影石 3. お楽しみのお弁当タイム。「美味しそう〜」とこの日一番の笑顔。お弁当の後は原っぱでかけっこをしたり、木の実や虫をみつけたりして自然を満喫

19団体が出店し、お菓子や日用品などさまざまな商品が並びました



松本選手(左から2番目)と小笠原選手(中央)が訪問



市民から、約500冊の絵本が寄付されました



全体で150人の参加者が清掃活動を行いました



いなこねマルシェ開催

約3,000人ももの来場者でにぎわいました

10月23日(日)、市役所前広場で、「いなこねマルシェ with さくらんぼ」が開催されました。これは子育て中の母親たちで運営するボランティア団体「いなこね」が、毎年開催しているものです。今年のテーマはSDGsで、会場には自然素材を使った雑貨など、手作りの品物がたくさん並びました。子どもたちがSDGsに関するクイズを楽しむ姿も見られました。

駅伝で全国大会出場

42.195キロメートルを6区間で走ります

10月27日(木)、宮城県で開催される「第42回全日本実業団対抗女子駅伝競走大会」に出場する(株)デンソー女子陸上部が、市長を訪問しました。今大会で同部は、19年連続30回目の出場となります。松本夢佳選手と小笠原朱里選手は、「朝練中、すれ違う人たちに声をかけてもらえることにとっても感謝している。大会では、自分たちの持っている力を出し切りたい」と話していました。

屋外で絵本にふれる

親子で本の魅力を体験しました

10月30日(日)、藤原文化センター周辺で「図書館まつり〜おやこブックフェスティバル〜」が開催されました。読まなくなって図書館に寄付された絵本を次の世代に受け継ぐ「つながる絵本」や、自然を感じられる空間で読書ができる「森の中の図書館」など、読書に関するさまざまなイベントが行われました。読書のほかにも、本のしおりづくりやビンゴゲームが行われ、訪れた親子の忘れられない1日となりました。

北勢線に乗って清掃活動

トヨタ車体(株)社員とその家族、地域住民が清掃

10月30日(日)、「INABE 生き生きクリーン活動」が行われました。これは、トヨタ車体(株)が社会貢献活動の一環として行ったもので、参加者は北勢線を利用するなどし、阿下喜駅〜麻生田駅沿線や北勢町阿下喜地区を清掃しました。清掃後は、阿下喜地区の店舗を利用した地域応援企画も開催。参加者からは、「電車に乗れてうれしかった」「阿下喜のいろいろな店を知ることができた」などの声がありました。